

あさひの日だまり



令和8年 5月 26日 (火)

NO.4

辰野町立辰野東小学校 文責 大槻

～洗たくものが、田んぼに落ちています～

先日、学校に地域の方からお電話をいただきました。

「今日、1年生と思われる黄色い帽子をかぶった子が、家のピンポンを鳴らして、『洗濯物が田んぼに落ちています』と教えてくれた。その子のお家の方にお礼を伝えてほしい。とてもうれしかった。」という内容でした。



教頭先生が私のところへ報告に来てくれて、二人で、こういう連絡をいただくと、本当にうれしいですね、素敵な児童が本校にはたくさんいますね、という話をしました。

田んぼに洗濯物が落ちているのを見て、その家の方がきっと困るだろう、教えてあげなければ。

そんな風に1年生が感じられるのは、お家の方がお仕事をしながら、家事をこなし、家族のために働いている姿をしっかりとみているからではないでしょうか。そして、そのことを当たり前だと思わず、感謝の気持ちをもっているからこそ生まれた行動であり、ご家庭での温かいコミュニケーションがあるからこそ芽生えた気持ちなのだと思います。だからこそ、きっと、「教えてあげないと…」という思いにつながったのでしょう。

そして、1年生が地域の方のお家の玄関のベルを鳴らして、落ちている洗濯物について伝えることができたこと。それは、子どもたちが地域の方々と関わっているからこそだと思います。

朝、通学路に立って声をかけて下さる皆さん。ボランティアで関わって下さる皆さん。地域での行事、学校での行事や教育活動に顔を出して下さる皆さん。そのつながりがたくさんある地域だからこそ、子どもは安心して、近所の方の玄関のベルを鳴らすことができるのだと思います。

落ちている洗濯物を教えてあげようと思った1年生の思いやりが、保護者の皆さんや地域の皆さんに支えられて醸成されていること、そして、そうした子どもたちの良さをさらに伸ばしていく学校づくりの必要性を改めて実感した出来事でした。

～6年生が平和学習に行ってきました～



5月19日に、6年生が沢底に平和学習に行ってきました。地域コーディネーターの有賀茂人さんに、B29爆撃機による爆撃跡地に案内していただき、説明を受けました。山道を登り、実際の現場で見ると、爆弾の威力がどれほどだったのか、よくわかりました。さらに、公民館で当時の状況を学習する際には、かたりんぱの皆さんも来てくださり、当時の手記を迫真の語り口で読み聞かせてくださいました。6年生が真剣に話を聞く姿も印象的でした。

裏面に「たつのこ学舎」についてご紹介します

本校にある「たつのこ学舎」についてご紹介します。

～「たつのこ学舎」のご案内～

学校に足が向きにくい子どもさんの保護者の皆さんへ

「たつのこ学舎」は、最近学校を休むようになってきた、学校に行きたがらない、教室への入りにくさを感じている、学習に困難さを感じている等の子どもさんが、安心して学校生活を送ることができるように、一時的に生活したり学習したりする場です。

昨年度は、2～3日程度の短期間も含めると計7人、一昨年度は計14人の利用がありました。すぐに教室に戻そうとするのではなく、子ども一人ひとりの気持ちや願いを尊重し、安心できる場としての機能を大切に考えて運営しています。



そして、「どの授業は教室に行くのか、どの活動はたつのこで活動するのか」を本人が自分で決めることを大事に考えます。また、学力保障も大切なことなので、算数・国語については本人の意欲が見られない時も学習を促し個別に学習を進めてきています。

ご相談を希望する場合は、担任の先生や教頭先生、校長先生にお声がけください。また、担当している職員（根橋）まで直接連絡をしていただいてもかまいません。

直通電話は41-0166です。心配なことがありましたら、ご相談ください。

